

# 県立保土ケ谷公園

## 平成28年度実績報告書

スポーツ・みどり・健康あふれるコミュニティパーク



公益財団法人神奈川県公園協会・  
株式会社サカタのタネ・株式会社オーチュー  
グループ

指定管理業務 管理運営 実施状況表

公園名：保土ヶ谷公園

事業計画書の内容				実施計画					平成28年度の実施状況	評価項目との対応
区分	通番	提案項目	提案の具体化方策 (事業計画に記載されている内容を簡潔にまとめて記入)	H27	H28	H29	H30	H31		
1 指定管理業務実施にあたっての考え方、運営方針等										
	1-①	安全で快適な利用空間の提供	利用環境の維持・安全確保 公平・公正な利用確保 災害への備え強化	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・日々の維持管理、パトロール等を計画的に実施することにより、県民の皆様に対して安心安全な公園環境の提供ができた。 ・公園内の各有料施設においては、県公園条例、利用規則などに則り運営を行った。また、園内での商業用撮影や制限事項に該当する行為等についても、相手方は園々に説明案内を行う等、公平、公正な利用の確保に努めた。 ・指定管理者として独自に行った災害時の緊急参集訓練、高校野球連盟の皆様と合同の硬式野球場での災害避難訓練、独自の災害用備蓄用具の保管等を行い、災害への備えを行った。	1-3-(6) 1-4-(14)
	1-②	より高い公益性の発揮	「未病を治すかながわ宣言」への取組 みどりの保全の普及啓発 資源循環型管理の実践 公園管理の協働促進と人材育成 障がい者施設と連携した花苗生産と活用	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・「未病を治すかながわ宣言」に関するポスターの掲示を行い、普及に努めるとともに、みどりの中で体を動かす各種イベントとして芝生ふれあいサッカー教室、ノルディックウォーキング体験会、ママさんバレーボール及びバドミントン大会、ヨガ教室を実施した。平成28年度は、県民協働活動の一つとしてヨガ教室を一教室追加し、活動の充実化を進めた。 ・地元の小中学生や企業の皆様と協働したチューリップ球根植付け活動、花壇ボランティア活動のサポート、隣接する高等学校と連携した園内清掃活動等を昨年度より継続して行い、みどりの保全普及や公園管理の協働促進のための人材育成の充実化を進めた。 ・神奈川県公園協会では、平塚市内の農園において障害施設と連携した花苗生産を行っている。その花苗を活用して、今年度も園内の花壇作りを進めた。(資料-1)	1-2-(5) 2-1-(19)
	1-③	効率的・効果的な管理運営	複数施設のスケールメリットの発揮 大型機械導入による業務効率化 これまでの公園管理ノウハウの活用 従来からの地域連携力の活用 防災・環境保護のための特定資産の活用		各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・芝刈用の芝刈機、エアレーション機器等を導入し、サッカー場や硬式野球場などのメンテナンス作業の効率化を図った。 ・これまでの管理ノウハウを活用し、天然芝サッカー場等の芝の管理や、噴水等の設備の点検修理、県民の皆様との協働したイベントやボランティア活動の推進を図った。 ・指定管理者独自財源にて、災害時の飲料、簡易トイレ等の備蓄を行った。 ・防災・環境保護のための指定管理者独自財源での取り組みとして、公園外周部の民家との隣接部の樹木伐採とその材の活用(薪やチップ化)、作業の効率化を図るために小型のバックホーを1台導入した。	1-4-(14) 2-1-(18) 2-3-(25)
	1-④	「する・みる・ささえる」スポーツの支援	質の高い競技環境の維持 スポーツの「する」機会の拡大 スポーツの「みる」楽しさの普及 スポーツの「ささえる」人たちの支援	・県や市町村が実施する健康づくりに関する事業実施や情報発信への協力	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・4月よりテニスコートの早朝利用コート数を増やし、利用の拡大を図った。 ・昨年度に引き続き、硬式野球場、サッカー場、ラグビー場において社会人や学生、プロ球団等の試合や練習を誘致し、一般の来園者が自由に観覧でき、スポーツに親しむ機会を提供する「オープンスタジアム事業」に取組んだ。(資料-2) ・硬式野球場等において開催される各種大会において、用具の貸出、混雑時の園内や周辺道路の交通整理等を行い、指定管理者側としてサポートを行い円滑な大会運営に寄与した。 ・硬式野球場、サッカー場、ラグビー場の公園を代表する3つのスタジアムを、一般の方を対象に見学するツアーを保土ヶ谷区公民館と連携をして実施し、好評を得た。	1-1-(2) 1-3-(10)・(11) 1-3-(6)
	1-⑤	レジャーやレクリエーションを通じた健康づくりの促進	健康づくりの教室開催 健康づくりにつながるサービス向上 サッカー場芝生開放、ヨガ教室開催	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・健康づくりにつながる教室として、天然芝サッカー場における春秋の年2回のヨガ教室と今年度はピクニック広場でのヨガ教室も開催した。また親子対象のふれあいサッカー教室、隣接する高等学校と連携した芝生で遊ぶイベントを実施した。また、企業のCSR活動として、清水建設(株)の皆様と公園の花壇作りを行い、体を動かす健康増進と公園の美化活動に取り組んだ。(資料-3)	1-3-(11)
	1-⑥	憩いと交流の機会を創出	「四季彩のプロムナード」など植栽環境の充実 ギャラリー等の活用 情報発信の強化 学校・地域との連携の場を提供	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・四季彩のプロムナードとして、市民ボランティアや近隣の小学校と連携して、公園中央部を走る市道沿いに花苗花壇、チューリップ等の球根花、花木等を配し花の充実を図った。 ・カフェと併設されているギャラリーを、県民の方々の発表の場として各種展示を行った。また、園内各所の掲示板やホームページ、メディアを活用した積極的な情報発信を行った。 ・また、隣接する中学校や高校の生徒を職場体験やボランティア活動で受け入れ、社会学習のサポートを行うとともに、公園管理運営業務の理解促進を図った。(資料-4)	1-1-(1) 1-3-(11) 2-3-(26)
	1-⑦	防災機能の確保	県・市との防災体制の整備 地域・利用者との防災意識向上 備蓄品の充実 防災設備の点検、整備	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・昨年度に続き、横浜市保土ヶ谷消防署と連携した高校野球連盟と合同の硬式野球場での災害避難訓練や、サッカー場における一般公開されたヘリコプターによる対応訓練を行い、職員の訓練とともに一般県民の皆様にも防災意識の普及を行った。(資料-5) ・また災害訓練時に防災用品のメンテナンスや備蓄品の確認を行う等、災害時に備えた。	1-4-(13)・(14) 2-3-(26)
	1-⑧	平等な利用の確保	積極的な情報発信とソフト面からのユニバーサルサインの取組	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・公園ホームページにおいて、公園利用の基本的な注意事項を呼び掛けたり、車いすの貸出、受付窓口に筆談用具の用意も含め、その他の障害の方へも丁寧な対応を行った。	1-1-(4) 1-3-(6)～(8)
	1-⑨	利用者等の意見を反映した公園づくりの推進	公園モニター等を活用した業務改善など	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・年2回実施する利用者満足度調査、日々実施している常設アンケートをもとに、利用者による意見要望を聞き、業務に反映させた。具体的な例のいくつかとして、広場による犬のリード外しの対応等。 ・公園モニター制度を導入し、一般県民のモニターの募集を行った。そのモニターによる公園調査は、平成29年度に行われる予定である。	1-3-(7) 2-3-(26)



1-⑩	環境に配慮した管理運営	環境マネジメントシステムの推進、ゴミゼロアクションの取組	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	各取組を実施	計画通り実施 ・管理事務所内の電灯スイッチに節電を呼びかけるサインを貼った。 ・園内で管理上発生する木の枝、幹をチップ化し、園路等で活用した。 ・ゴミの分別化、グリーン購入、外来生物の確認と除去活動等を実施した。	1-2-(5)
2 業務の一部を委託する場合の考え方、業務内容等									
	<委託予定業務一覧表(様式第3号)にて確認>								1-1-(4)
3 施設の維持管理									
3-①	近隣住民に親しまれる花壇・芝生管理	近隣住民に親しまれる花壇・芝生管理	・季節により見どころある花景づくり ・快適性を維持した芝生管理	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・公園中央部を走る市道沿いを中心に、花苗花壇、チューリップ等の球根植付け、花木の手入れを行い、季節感のある花の演出を行った。 ・天然芝のサッカー場、硬式野球場外野エリアを専門技術で維持管理するとともに、ピクニック広場等の芝面もこまめに刈込を行い快適な利用環境を提供した。ピクニック広場においては、危険な外来種として指摘されているメリケントキンソウの抑制作業を行った。	1-1-(1)
3-②	住宅隣接部の斜面地樹木や危険木の早期発見・対処	職員の巡回点検、樹木医の樹木診断を実施	【樹木点検】 ・高木の密度が高い区域を中心に、日常巡回時に職員が目視点検を実施 ・樹木医による梅、桜等の樹木点検を年1回程度実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常の園内パトロールにおいて、園内樹木の点検を実施し、高所に枯れ枝等があれば迅速に処理を行った。 ・樹木医による梅の木の状況観察と剪定を行い、育成に努めた。	1-1-(1) 1-4-(13)
3-③	園内の清潔さ、美観の維持	日常清掃に加え、他の業務の際にも簡易な清掃を実施	・職員巡回時には遊具や広場、園路沿いのゴミ清掃を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・草刈り作業時等においても、ゴミ拾いや掃き掃除を行い、常に清掃の実施を行った。 ・受け付けスタッフ、清掃委託業者等も含め、業務の合間等に園内清掃を行い美化に努めた。	1-1-(3)
3-④	施設の長寿命化	効率的かつ確実な保守点検の実施	・不具合の早期発見、早期対応を徹底	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・設備の多い当公園では、各種機器が不具合を起こす場合がある。保守点検業者の点検報告等とともに、不具合発生前に調整を行った。平成28年度は、昨年度に引き続き、硬式野球場スコアボード表示器具の保守と交換、サッカー場給湯設備の修繕、ラグビー場スタンド椅子の交換等を行うとともに、大掛かりな案件は果事務所と調整を行い修繕等を進めた。	1-1-(2)
3-⑤	運動施設の利用調整	親切で丁寧な受付対応 利用団体との利用調整	・個人利用への丁寧な受付対応 ・硬式野球場やサッカー場の年1回の利用調整会議及び他運動施設利用の選考会の開催	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常的な有料施設受付案内の的確な対応の実施。神奈川県有料施設予約システムとそのルールに沿って、適確な対応を行った。 ・硬式野球場等の年間利用調整会議を開催し、複数団体の円滑な施設利用を図った。	1-3-(10)
3-⑥	運動施設の維持管理	硬式野球場管理の実施	・高水準の競技環境の提供 ・スムーズな大会運営への配慮 ・安全で快適な利用環境を確保各取組を実施 【スコアボード】 ・現存のスコアボード備品の保管を継続	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・硬式野球場のグラウンド部分及び芝生エリアを、専門知識のある技術者により整備を行い、高校野球大会等に対応する状態を提供した。平成28年度は、内野と外野芝付近の勾配を調整し、より水はけを促進する作業も行った。 ・施設内は、清掃や機器メンテナンスを実施し、快適に使用できる環境を整えた(室内、トイレなどの定期清掃、空調設備等点検の実施)。 ・スコアボードの予備機器を保管し、不具合時に備えた。また、不具合の発生を抑えるため、適宜器具の交換や修理も行った。	1-1-(1)～(3) 1-3-(10)
3-⑦	運動施設の維持管理	サッカー場管理の実施	・Jリーグ公式戦や練習会場としても利用されるため、良好なコンディションを維持各取組を実施 【サッカー場】 ・(株)サカタのタネを中心に、プロ利用の高水準なピッチ管理を維持しながら、大会と一般利用の利用調整を図り、優れた競技環境を提供	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・グループである(株)サカタのタネにより、常に芝の育成状態を把握し、的確な処置もを行い、高品質な芝生の状態を1年を通じて維持した。 ・週末の一般的な利用の他、平日もスポットでプロフェッショナルの地元サッカーチームの練習の受け入れ、FIFAクラブワールドカップの横浜開催に伴う練習会場の協力等を行った。(資料-6)	1-1-(1) 1-3-(10)
3-⑧	運動施設の維持管理	ラグビー場管理の実施	・劣化や傷に早急に対処し、均一な人工芝の維持 ・クラブハウスや観客席の清掃を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・毎週行うクラブハウスの清掃業務や、観客席のメンテナンス、人工芝用のゴムチップの均しを行った。	1-3-(10)
3-⑨	運動施設の維持管理	その他の運動施設管理の実施	・軟式野球場・少年野球場、テニスコート、体育館、運動広場・ミニ運動広場の維持管理の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・定期的なメンテナンスと清掃を行い、利用しやすい施設環境を整えた。特に軟式及び少年野球場においては、外野緑地面の裸地部分の補植、グラウンドの耕耘及び不陸整正等を休業期間に大掛かりに実施し、より利用しやすい球場の環境をつくった。	1-1-(1) 1-3-(10)
3-⑩	運動施設の維持管理	プール管理の実施	・安全で衛生的な管理の実施 ・(株)オーチューを中心に、設備点検や清掃、監視を行い、衛生的な管理を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・グループ企業である(株)オーチューを中心に、施設清掃、設備メンテナンス、安全に配慮した営業を行い、基本的に事故無く業務を行うことができた。	1-1-(2)、(3) 1-3-(10)
3-⑪	広場、レクリエーション施設の維持管理	ピクニック広場他、上池・下池、遊具施設の維持管理	・安全で快適な管理運営の実施 【遊具施設】 ・職員による日常巡回時の目視点検及び危険物の除去 ・職員による遊具チェックリストに基づく月1回の定期点検の実施 ・専門業者による年1回の法定点検の実施 ・遊具施設ごとの点検履歴を作成 ・異常箇所発見時には県と協議し使用禁止措置を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・日常の園内パトロールにおいて、清掃及びガラス等の危険物の除去、放置自転車等の処理を行った。 ・月1回遊具点検を行い、遊具事故の未然防止を図るとともに、精密点検を専門業者に委託し実施した。不具合箇所は迅速に補修を行った。 ・ピクニック広場では、危険外来植物のメリケントキンソウが増え始めたため、除去のための施策を行った。等。	1-1-(1)～(3) 1-4-(13)
3-⑫	特性に応じた植物管理	樹林地、梅園、芝地・草地、花壇等の植物管理の実施	・特性と課題に対応した維持管理	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・樹林地に関しては、公園外周部の民家との境において、支障となる枝や樹木の伐採整理を行った。 ・梅林に関しては、昨年度に引き続き樹高が上がってきたものを低くする剪定を行い、花を觀賞しやすいようにした。 ・芝地、草地については、定期的に除草を行うとともに、危険植物(メリケントキンソウ)の除去作業も行い、ご利用者に対して安心安全な環境づくりに努めた。 ・花壇については、当初より花壇班を編成し、公園中央部を走る市道脇を中心に多くの花を植栽し、来園者及びバス乗車の方々にも楽しんでいただけるように作業を行った。	1-1-(1) 1-3-(11)



3- ⑬	特性に応じた植物管理	四季彩のプロムナード充実	・年間を通した彩の魅力アップづくり ・イチヨウ並木のライトアップの実施 ・梅観賞WEEKと位置づけ、積極的な情報発信	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・公園中央部を走る市道沿いに、花壇の設置、花木の手入れ等を行い年間を通じて花を見せるようにし、公園の魅力を視覚的に訴えた。 ・イチヨウ坂においてイチヨウ並木のライトアップを実施し、幻想的な空間を演出した。 ・梅観賞WEEKと名打ち、公園HPや地域広報誌などにより梅の開花情報を積極的に情報発信した。	1-1-(1)
3- ⑭	維持管理の水準を担保するための取組	業務の集約化、省力化等による業務の効率化	各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・委託業務は協会本部が公募入札などにより業者決定を行い、公平で信頼できる業者選定としている。 ・保険全般、電気代、トイレトペーパーやコピー用紙など協会本部で集落発注し、経費節減に努めた。	2-1-(17)・(18)
4 利用促進のための取組									
4- ①	スポーツ支援のイベント開催・情報発信	スポーツを「する」だけでなく、「みる」、「ささえる」側面からスポーツを楽しむ機会を提供	・スポーツイベントの開催・充実 ・スポーツ団体との共催大会の実施内容検討 ・オープスタジアム、保土ヶ谷3大スタジアムツアーの実施内容検討 ・試合スケジュールの情報発信 ・スポーツのコミュニケーションツールの実施内容検討	・スポーツイベントの開催・充実 ・スポーツ団体との共催大会の体制づくり ・オープスタジアム、保土ヶ谷3大スタジアムツアーの試行実施 ・試合スケジュールの情報発信 ・スポーツのコミュニケーションツールの試行実施	・スポーツイベントの開催・充実 ・スポーツ団体との共催大会の試行実施 ・オープスタジアム、保土ヶ谷3大スタジアムツアーの試行実施 ・試合スケジュールの情報発信 ・スポーツのコミュニケーションツールの試行実施	・スポーツイベントの開催・充実 ・スポーツ団体との共催大会の開催 ・オープスタジアム、保土ヶ谷3大スタジアムツアーの開催 ・試合スケジュールの情報発信 ・スポーツのコミュニケーションツールの提供	同左	計画通り実施 ・サッカー場の年3回の芝生ふれあいサッカー教室やラグビー場でのラグビーフェスタとふれあい人工芝ラグビー体験など、各運動施設において一般の方へスポーツに親しむ機会を提供、スポーツの振興に寄与した。 ・普段より運動施設を利用している方々に対し、各チーム間交流を図ってもらう目的からママさんバレーボール大会を体育館で開催した。 ・日本ラグビー協会と県ラグビー協会との連携により、平成28年度も女子7人制ラグビーの日本一を決める「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ2016保土ヶ谷大会」の会場誘致や開催協力を行った。 ・硬式野球場、サッカー場、ラグビー場の公園において社会人や学生、プロ球団等の試合や練習を誘致し、一般の来園者が自由に観覧でき、スポーツに親しむ機会を提供する「オープスタジアム事業」に取組んだ。 ・硬式野球場、サッカー場、ラグビー場の公園を代表する3つのスタジアムを、地元保土ヶ谷区のケアプラザと連携し、区内を巡るウォーキングイベントと併せて施設見学ツアーを実施した。(3大スタジアムツアー) (資料-7)	(33) 1-3-(10)・(11) 2-3-(26)
4- ②	運動施設の利用促進	平日料金の設定 利用時間拡大	・ラグビー場の平日料金の設定実施 ・テニスコート、体育館、サッカー場の利用時間拡大設定実施 ・「グランドコート」イジョンをふまえて、軟式野球場、少年野球場の平日料金の設定検討	・ラグビー場の平日料金運用実施 ・テニスコート、体育館、サッカー場の利用時間拡大運用実施 ・「グランドコート」イジョンをふまえて、軟式野球場、少年野球場の平日料金の設定試行実施	・ラグビー場の平日料金運用実施 ・テニスコート、体育館、サッカー場の利用時間拡大運用実施 ・「グランドコート」イジョンをふまえて、軟式野球場、少年野球場の平日料金の設定実施	同左	計画通り実施 ・テニスコートの早朝利用時間拡大の検討を重ね、平成28年4月より早朝利用コート数を4面から9面に増やし、利用者の拡大を図ることができた。 ・体育館の夜間利用時間枠拡大について、前年度以前より試行的に時間延長を実施した。施設利用者より夜間利用時間の拡大を要望する声が多く、引き続き実施し、更なる利用者の拡大とサービス向上に努めた。 ・軟式・少年野球場とラグビー場において利用促進を図るため平日の利用料金割引について所内で検討し、平成29年度で実施するよう進めた。	(33) 1-3-(10)・(11)	
4- ③	閑散期の運動施設の有効活用	ニュースポーツ等の受入れ、活動支援 閑散期プールの活用 運動広場の活用	・ラグビー場等でのニュースポーツ受入れ、支援 ・プールでの自然観察会の検討 ・運動広場の大会利用調整	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・ラグビー場において、ラグビーフェスティバルを神奈川県ラグビー協会と協力し、ニュースポーツとして人気のあるタグラグビー体験会を実施し、ラグビーの普及及びスポーツの楽しさの普及を図った。 ・閉場期のプールを活用し、5月に「プールのヤゴ救出大作戦！」等と3月に「水辺の生きもの観察会」の自然体験イベントを実施した。(資料-8) ・運動広場では、グランドゴルフや学校遠足等で利用を受け入れ、利用促進を図った。	(33) 1-3-(10) 2-3-(25)
4- ④	県施策等と連携した健康づくり促進	健康づくり教室等の開催	・県の「未病を治すかながわ宣言協力活動登録制度」への登録 ・ヨガ教室など健康推進イベントの開催 ・県や市町村が実施する健康づくりに関する事業実施や情報発信への協力	・ヨガ教室など健康推進イベントの開催 ・県や市町村が実施する健康づくりに関する事業実施や情報発信への協力	同左	同左	同左	計画通り実施 ・体育館で開催したママさんバレーボール大会では、昨年度に引き続き70歳以上のパルククラスを実施し、益々の健康推進イベントとして展開した。(資料-9) ・天然芝サッカー場において春秋2回ヨガ教室を開催し、天然芝の気持ち良さや風を感じてのヨガで、心身共にリフレッシュできる健康推進イベントを開催した。また、ピクニック広場でも9月等の穏やかな気候の時期にヨガ教室を開催した。	(33) 2-3-(26)
4- ⑤	新たな魅力づくりと交流機会の充実	四季彩のシンボルを活かしたイベント開催 パークセンター機能の強化 ギャラリーの活用	・四季イベントの開催 ・年間を通じてギャラリーでの作品展示、ライブ等の開催【パークセンター】 ・管理事務所入り口の改修内容検討(工程表作成、レイアウト検討)、県と協議	・四季イベントの開催 ・年間を通じてギャラリーでの作品展示、ライブ等の開催【パークセンター】 ・管理事務所入り口の改修計画実施 ・情報提供者との調整、大型モニターの設置検討	・四季イベントの開催 ・年間を通じてギャラリーでの作品展示、ライブ等の開催【パークセンター】 ・情報提供者との調整、大型モニターの設置	・四季イベントの開催 ・年間を通じてギャラリーでの作品展示、ライブ等の開催【パークセンター】 ・大型モニターによるスポーツ情報や公園情報の提供	同左	計画通り実施 ・春は、噴水花壇づくりイベント、夏はキャンドルナイトイベント、秋は森の遊びイベント、冬は梅まつりを開催し、年間を通じて集客を行った。 ・ギャラリーでは、高校野球展、公園写真展、つるし雛展、絵画書道展等、年間を通じて展示を行った。併設されているカフェにおいても、生演奏会を年間を通じて実施し、線の中で食事と音楽で演出を行った。 ・管理事務所内の多目的ルームの改修検討を行った。検討内容としては、幼児コーナーや授乳室の設置を検討した。平成29年度の早い段階で、改修と開設を行うこととした。	(33) 1-1-(1)・(4) 1-3-(12)
4- ⑥	イベント等開催による1年を通じたにぎわいづくり	大小のイベントや教室を定期的に開催	【イベント計画】 イベント実施計画書参照 ・季節ごとのイベントの実施・充実	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・イベント実績表のとおり、年間を通じて実施した。	1-3-(11)
4- ⑦	広報、PR活動	幅広い媒体の活用	・独自広報ツールの活用 ・マスコミへの情報提供 ・首都圏の公園との共同「イトアゲ」の作成	・独自広報ツールの活用 ・首都圏の公園との共同「イトアゲ」の販売	同左	同左	同左	計画通り実施 ・独自広報ツールは、公園ホームページや園内掲示板の他、当協会が発行している公園情報誌「かながわパークナビ」、地域広報誌であるタウンニュース社の紙面を積極的に活用した。マスコミへの情報提供として、神奈川新聞や横浜ケーブルテレビ等への情報提供を実施した。(資料-10) ・昨年度に引き続き、首都圏の公園緑地関係団体と連携した公園ガイドブックを作成し、県民の皆様へ普及を図った。	1-1-(4) 1-3-(12)
4- ⑧	広報、PR活動	利用団体や地域ネットワークを活用した情報発信	・大会試合情報の発信 ・イベント情報の提供、取材対応	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・公園ホームページで高校野球大会のページとリンクを貼った。また、その大会中に電話対応において、大会情報の提供対応を行った。 ・隣接する桜丘高校との協働イベントでは、最寄駅や地元商店等へチラシやポスター掲示を行う等、地域ネットワークを活用した。	(33) 1-3-(10)
4- ⑨	広報、PR活動	フォトコンテストの開催 外部イベント等でのPR 協会マスコットの活用	・フォトコンテストの開催 入賞作品展の開催 ・当協会全体としてフォーラム等に参加し公園をPR ・コーちゃん&エンちゃんの地域イベント出演によるPR	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・神奈川県公園協会主催の県立公園及び県立自然公園を対象としたフォトコンテストを開催した。その作品をギャラリーで展示する他、他公園での展示を行い、本公園のPRを行った。(資料-11) (資料-12) ・当協会のマスコットキャラ「c o ちゃん&e n ちゃん」が地域イベントに出演し、当協会が管理する公園の魅力をPRした。(資料-13)	1-1-(4) 1-3-(12)
4- ⑩	公園利用者数の目標	722千人から今後5年間で10%増を目指す 有料施設利用者数を今後5年間で480千人を目指す	・利用者増に取組む(各取組を実施)	同左	同左	同左	同左		1-1-(4) 1-3-(12)

5 自主事業の運営									
5-①	有料駐車場	A駐・B駐・臨時駐車場の運営	・県との協議により、駐車場管理機器を導入し機械化 ・営業時間は5時～23時まで、料金は時間制とする	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・昨年度に引き続き本公園駐車場は、入庫とも自動機械を導入し、かつ営業時間も朝5時から夜11時までとした。また利用料金の上限金額も設定し、利用しやすい料金体系とした。また、施設等の混雑時においては、臨時駐車場を開設し、周辺道路の渋滞対策を行った。	1-3-(9)
5-②	自動販売機	自動販売機による清涼飲料水の販売 災害支援型ベンダー、バリアフリー型ベンダーの採用	・県との協議により飲料等の自動販売機設置 ・再整備された広場等へ飲料の自動販売機設置	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県との協議により飲料自動販売機を設置した。災害支援型のもの、またバリアフリー対応機器も含め設置した。	1-3-(11)
5-③	軽飲食・売店	カフェとギャラリーを併設し、くつろぎの空間を演出 常設売店2か所のほか、硬式野球場・プールでの臨時売店の営業	・各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	1-3-(11)
5-④	オートテニス	オートテニス2台による営業 テニスラケットや靴の貸出し	・各取組を実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	1-3-(11)
6 利用料金について									
6-①	利用促進と利用者サービス向上	平日の利用を促進する余地のある施設について、平日料金の設定	・ラグビー場の平日料金の設定検討	・ラグビー場の平日料金の運用実施	・グランドコンディションをふまえて、軟式野球場、少年野球場の平日料金の設定検討	・グランドコンディションをふまえて、軟式野球場、少年野球場の平日料金の設定検討	同左	一部未実施 ・平成27年度には、ラグビー場、サッカー場の利用料金激減緩和措置の検討と併せてラグビー場平日利用料金の検討を県ともに行った。結果的に激減緩和措置に対して関係団体との調整がつかず、不実施となった。平成28年度は、ラグビー場、軟式、少年野球場の平日利用促進を図るための利用料金半額について平成30年度実施に向け検討を行った。	1-3-(10)
6-②	利用料金の減免基準	減免基準の設定（県の承認）と運用	・独自減免規定の運用	同左				計画通り実施 ・指定管理者側から県へ提案を行い、承認を得て以下のことを実施してきた。それは、サッカー場、ラグビー場において教育関係機関（高等学校以下）の団体利用について、利用料金の半額減免を行い、平日を中心に利用の促進を図ること。	1-3-(10)
7 利用者への対応									
7-①	基本的な接客姿勢と対応の確保	職員の情報共有の徹底	・全職員が最新の公園情報を把握(朝礼時の報告・連絡の徹底、連絡ノートの回覧) ・定例全体会議(月1回)での情報共有	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・全職員が最新の公園情報を把握(朝礼時の報告・連絡の徹底、連絡ノートの回覧) ・定例全体会議(月1回)での情報共有	1-3-(6)
7-②	基本的な接客姿勢と対応の確保	コンシェルジュリーダーの指定	・コンシェルジュリーダーの指定(バッジ)の着用、利用者への周知	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・コンシェルジュリーダーとして総括管理主任、受付担当専門員に指定し、バッジの着用を行った。ホームページにてこの旨を利用者へ周知した。	1-3-(6)
7-③	接遇スキルの向上	接遇研修の実施	・新規採用職員対象の接遇研修実施 ・接遇、苦情対応研修の実施(全職員、年1回)	・公園モニター結果に応じた研修の実施	同左	同左	同左	計画通り実施 ・全体会議において所内接遇研修を実施し、公園利用者に対する接し方などの勉強会を実施した。	1-3-(7) 2-1-(19)
7-④	接遇スキルの向上	OJTの実施	・各自の対応の定期的チェック(チェックシート方式) ・利用者への積極的挨拶の励行 ・朝礼での挨拶唱和の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・朝礼での挨拶唱和の実施、利用者への積極的な挨拶も履行した。 ・接遇関係のチェックシート方式による定期的チェックを全体会議時に実施した。	2-1-(19)
7-⑤	苦情対応、サービス向上のための取組等	苦情処理・改善策実施のための工夫	・他の施設と併せた苦情・要望情報のデータベース化	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・苦情要望については、データベースソフトを活用して蓄積を行った。神奈川県公園協会が管理運営を行っている他公園なども同様のシステムで処理しており、本部を通じて蓄積を行っている。 ・苦情要望データは、全体会議において傾向と今後の対応についてスタッフで話し合い、再発防止に向け取り組んだ。	1-3-(7)
7-⑥	苦情対応、サービス向上のための取組等	公平・公正なルールの策定と周知徹底	・利用ルールの策定 ・ルールに基づく分かりやすい利用指導	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・県都市公園条例をもととし、公園ホームページにおいて基本的な制限(禁止)事項や、有料施設の利用方法等の案内を行った。 ・電話や各種問い合わせについても、スタッフにより適宜案内指導を行った。	1-3-(8)
7-⑦	苦情対応、サービス向上のための取組等	適切な利用指導を行うための研修の実施	・新規採用者への関係法令の研修 ・職員会議等での情報共有、OJT ・他団体との交流による情報収集と共有	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・全体会議、朝礼において法令勉強会、利用状況等の情報共有を行い、円滑な公園運営を行った。 ・全国の公園管理運営者があつまる公園管理フォーラム等に参加し、情報交換等を行った。	2-1-(19)
7-⑧	苦情対応、サービス向上のための取組等	公園モニター制度の取組実施	・仕組みづくり (モニターの公募方法、チェック方法、チェック結果と反映の方法)	・モニターによるチェックの試行 ・結果に基づく改善、職員指導・研修	本格実施 結果に基づく改善、職員指導・研修	同左	同左	計画通り実施 ・本部と連携し仕組みづくりを行い、平成29年度に実施することとした。(資料-14)	3-1-(32)







11 地域と連携した魅力ある施設づくり									
11-①	地域人材の活用、地域・関係機関との協力体制の構築	各関係機関等の連携、協力 公園関係団体を通じた連携	・各関係機関等との連携、協力の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・各種イベントを地域団体と連携して実施した。隣接の市立桜丘高校による公園イベント実施（書道展、お茶会、サッカー試合等）、梅まつりでの地元高校の吹奏楽演奏、花壇ボランティア活動等を実施。 ・地域連携を進めるため、担当職員を明確化（総括管理主任1名）し業務を進めた。 ・隣接する横浜市立桜丘高校の学校評議会に出席し、公園管理運営という立場から、今後の教育機関との連携等について意見交換を行った。 ・「首都圏みどりのネットワーク」との情報交換や他公園への視察を当協会職員が行い、情報等を全体で共有を図った。（資料→16）	2-3-(26)
11-②	ボランティア団体等との連携、協働及び育成	各ボランティア団体との連携、協力	・各ボランティア団体等との連携・協力の実施 【活動頻度】 ・維持管理協力 随時及び月1回程度 ・イベント協力 イベント開催日	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・花壇づくり、清掃活動のボランティアを毎月1回一般募集を行い実施した。また、企業のCSR活動の一環としての花壇づくり、福祉団体と連携した園内清掃活動、梅まつり等での地域団体の出演、近隣教育機関との花壇、清掃、イベント等の活動等を進めた。	2-3-(25)
11-③	他公園、周辺施設との交流・連携	「花とみどりのフォトコンテスト」の開催 公園関係団体との連携 アートホールとの交流、連携	・フォトコンテストの開催、入賞作品展の開催 ・「首都圏みどりのネットワーク」との情報交換や他公園への視察を当協会職員が行い、情報等を全体で共有 ・アートホールとの情報発信、イベント等での連携、協力の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・神奈川県公園協会主催の県立公園、県立自然公園等を題材としたフォトコンテストを開催し、作品をギャラリーで展示を行った。 ・「首都圏みどりのネットワーク」との情報交換や他公園への視察を当協会職員が行い、情報等を全体で共有した。 ・アートホールとのイベントなどの情報共有化を図り、PR効果を図るとともに、梅まつり時のイベント連携等を行った。	2-3-(26)
11-④	地域企業等への業務委託	地域企業への発注 地元非営利団体への業務委託	・地域企業等への業務委託発注	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元企業へより専門的な業務を発注し、地域貢献を図った。	2-3-(25)
11-⑤	企業のCSR活動や学校等との連携	地域企業のCSR活動の受入れ 学校等の連携	・企業のCSR活動への協力、支援の実施 ・学校等の学習・部活・行事への協力、学ぶ場の提供	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元小学校のチューリップ植え付け体験、地元中学生の職業体験の受け入れ、隣接する高等学校の園内清掃活動やイベントの実施、のサポートを行った。 ・企業CSR活動として、花壇作りの活動の受け入れとサポートを行った。	2-3-(26)
12 節減努力等(業務の効率化)									
12-①	経費節減努力の実施	他公園との備品・資材等の共有化	・他公園との備品・資材等の共有化	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・他公園施設等で不要となった消耗品（展示用額、自然観察セット、生き物の書籍等）を活用し、ギャラリーや自然観察会で役立てた。	2-3-(25)
12-②	経費節減努力の実施	各種経費節減策の実施	【LED照明】 ・1日8時間以上の点灯箇所にはLED照明等を設置予定	同左	同左	同左	同左	一部実施 ・事務所内蛍光灯、園路灯等をLED器具に替え、節電を図った。	1-1-(2)
12-③	経費節減努力の実施	各種経費節減策の実施	・長期契約による特定規模電気事業者（PPS）の活用	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・以前より硬式野球場関係は、特定規模電気事業者との長期契約に切り替え、経費節減を図ってきた。今年度はプール関係施設も同様に変更し、さらに経費削減を図った。	1-1-(2)
12-④	経費節減努力の実施	各種経費節減策の実施	・剪定材のチップ化、薪等の有効活用	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・園内の管理上発生した枝や幹をチップ化し、梅林の下などへ撒くなど活用した。薪については、カフェの暖房用として活用した。	1-2-(5)
13 人的な能力、執行体制									
13-①	適切な人員配置	責任者・主要職員の適切な配置	・計画に示す経歴等での人員配置	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	2-1-(17)
13-②	適切な人員配置	有資格者の適切な配置	・計画に示す有資格者(資格、人数)の配置	同左	同左	同左	同左	計画通り実施	2-1-(17)
13-③	人材の育成	研修の受講、資格取得の推進 民間企業等との人材交流	・人材育成の仕組みに基づく実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・別紙研修実績表のとおり実施し、人材の育成に努めた。	2-1-(19)
13-④	職員採用	公募による人材確保(正規職員) 地元人材の活用(非常勤、作業員等)	・適正な採用の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・地元地域振興、防災面の観点等も含め、専門員やパートスタッフは地元の方を主に採用している。	2-1-(19)



14 コンプライアンス、社会貢献									
14- ①	諸規定の整備、法令遵守の徹底	各構成企業における諸規定に基づく法令遵守の徹底	・諸規定の整備と運用	諸規定の運用	同左	同左	同左	計画通り実施 ・各グループ企業とも、諸規定を整備し運用を行っている。	2-2-(22)
14- ②	諸規定の整備、法令遵守の徹底	コンプライアンス要綱等の周知	・研修等の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・全体会議において、都市公園法、県都市公園条例、動物愛護法、特定外来種法、個人情報関係法等の勉強会を実施した。	2-2-(22)
14- ③	個人情報保護のための取組	個人情報保護のための諸規定の整備	・諸規定の整備と運用	諸規定の運用	同左	同左	同左	計画通り実施 ・神奈川県公園協会として個人情報保護関係の規程を整備し、公園業務で運用している。	2-2-(23)
14- ④	個人情報保護のための取組	個人情報保護のための取扱いの徹底	・取扱いの徹底	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・個人情報を鍵の掛かる保管庫への保管及び退社時の施錠徹底、パソコンのパスワード設定、セキュリティソフトの起動等を実施している。	2-2-(23)
14- ⑤	環境への配慮	独自システムによる総合的な環境マネジメントの実践	・年1回、自己評価での環境マネジメントシステムの実践	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・光熱水費、自然環境の関係等について自己チェック方式で確認を行った。今年度は特に設備の漏水関係を調査し、水道の節減を図った。	1-2-(5)
14- ⑥	環境への配慮	環境負荷軽減の具体的取り組み	・1日8時間以上の点灯箇所にはLED照明等を設置予定	同左	同左	同左	同左	一部実施 ・管理事務所室内の蛍光灯、公園中央部市道の足元灯り等をLED化した。	1-2-(5)
14- ⑦	環境への配慮	環境負荷軽減の具体的取り組み	・作業用EV作業用軽トラックの導入	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・電気自動車で軽トラックタイプのものを1台導入した。	1-2-(5)
14- ⑧	環境への配慮	環境負荷軽減の具体的取り組み	・間伐・枝落としによる発生材のチップ化	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・管理で発生する園内の枝、幹等をチップ化し、園路や園地のぬかるみ対策等で活用した。	1-2-(5)
14- ⑨	環境への配慮	環境負荷軽減の具体的取り組み	・季節に応じた被服を貸与してクールビズ、ウォームビズを推進。	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・季節に応じた被服を貸与してクールビズ、ウォームビズを推進した。	1-2-(5)
14- ⑩	環境への配慮	環境負荷軽減の具体的取り組み	・トイレットペーパー、コピー用紙のグリーン購入	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・グリーン購入に関する物品を購入し、利用した。	1-2-(5)
14- ⑪	環境への配慮	環境負荷軽減の具体的取り組み	・ゴミゼロアクセスの取組⇒公園周辺道路の清掃を実施。地域との連携方法は検討。	・ゴミゼロアクセスの取組⇒地域との連携を試行	・ゴミゼロアクセスの取組⇒地域との連携を行う	同左	同左	計画通り実施 ・公園中央部を通る市道の側溝等の清掃を適宜実施し、枯葉や枝等は公園内の堆肥場で処理をするなど、ゴミゼロの取組を実施した。	1-2-(5)
14- ⑫	障害者の雇用促進	障害者の直接雇用と障害者就労施設への積極的な業務発注	【障がい者雇用】 ・法定雇用率を上回る雇用努力の実施	同左	同左	同左	同左	計画通り実施 ・神奈川県公園協会全体として、法定雇用率を上回るよう雇用努力を行っている。	2-1-(19)
14- ⑬	障害者の雇用促進	障害者の法定雇用率の高い企業へ優先的に発注する仕組みづくり	・仕組みづくり（業者選定の際に条件に入れることを検討）	同左	・検討結果の運用	同左	同左	計画通り実施 ・仕組みづくりは検討中であるが、神奈川県公園協会事業で実施している障害者と連携した花苗づくりの花苗を利用した花壇づくりを行った。	2-1-(19)

※本表と併せて、各項目の実施状況のわかる具体的な資料（説明資料・写真・作業一覧・新聞切抜きなど）を添付して提出して下さい。